

札幌市立山鼻小学校

〒064-0914

中央区南14条西10丁目1番

中央区

【幼保との連携】

○近隣幼稚園・保育所との連携

- ・小学校プールでの水遊び
- ・スキー山での、そりやチューブ滑り、児童との交流
- ・「学習発表会」への招待
- ・「学校探検」学校の教室見学、園児・児童の発表交流
- ・「図書室探検」
- ・幼稚園、保育園での職業体験
- ・幼・保の教諭・保育士による授業参観
- ・園へ出向いての、「入学へ向けて」の講演
- ・運動会のグラウンド貸与・施設利用(トイレなど)
- ・「運動会」「生活発表会」「入園式」「卒園式」の小学校からの出席

○連携に至る経緯

- ・「幼保小連携推進協議会」でのつながり
- ・地域（校区内）としてのつながり

○連携先との関係

- ・近隣に幼・保7園があるため、卒園児が多く入学する。

【成果】

○園児が「校内探検」をしたり「図書室」の本を読む体

験をしたりすることで、小学校へのあこがれや期待が増した。また、小学校は和式のトイレも設置されているため、「トイレ体験」を取り入れることにより、入学後の不安の解消に役立っている。

○1年生との交流を軸にして、休み時間には他学年との交流なども取り入れることにより、園児たちの学校生活への期待が膨らむような活動になるとともに、児童にとっても、新入生をあたたく迎える意識を育てることにつながっている。

○園へ出向いての「入学へ向けて」の講演では、入学に向けての保護者の疑問に答え、小学校の様子をお伝えすることで小学校生活への不安を少なくするよう心がけている。

【考察】

- ・幼保との連携を推進するために、「ひと・もの・こと」の交流を中心に、気軽に行き来できる関係に心がけている。「学習発表会」の観覧や夏の「プール」、冬の「スキー山」を使っていただくなど、担当者間で電話やメールでの打合せ程度での使用日程調整を行い利用いただいている。



【学習発表会で1年生の演目を観覧している園児】



【学校探検で1年生と交流している様子】



【職業体験で園児たちと交流している様子】

札幌市立桑園小学校

〒060-0008

中央区北 8 条西17丁目

【幼稚園、保育園との連携】

幼稚園児、保育園児の学校訪問は、昨年度までは、卒園間近の2月に集中してしまう傾向があり、日程の調整に課題を残していました。そこで、今年度は、夏の早い時期から小学校訪問が可能かどうかを各園で検討していただき、訪問が可能な園には夏に訪問していただきました。

また、昨年度から実施している中央幼稚園との教師同士の交流を今年度も継続して行いました。昨年度は中央幼稚園の先生が本校に来校しての交流でしたが、今年度は本校の先生方が中央幼稚園に赴き、交流をしました。園児の活動の軌跡を残していただいていたので、取組の様子がよく伝わる交流となりました。小1プロブレム問題についても意見を交わし、互いに今後の方針について確認することができました。



【中央幼稚園にて教育方針の説明】

【成果】

連携する回数が増えたことによって、担当者の顔がはっきりと分かるようになり、コミュニケーションがよりスムーズになったと感じています。その結果、物品を貸すことも増えたので、各園でのよりよい教育活動の推進に、今までよりも貢献できたと考えます。

また、中央幼稚園との教師間交流では、幼稚園の教育環境を実際に見ることができ、初めて目にした先生は「見ることができてよかった。」と話していました。教師が児童の育ってきた環境を知ることは、児童理解をする上でとても大切だと考えます。

【考察】

実りの多い取組です。各園、各校で担当者が変更になることもあります。引継をしっかりと行って、絶えることなくつながっていくことができるように、計画を立てていくことが重要です。より多くの教師が教師間交流に参加できるように、学校としても体制を工夫していく必要があります。



【中央幼稚園にて遊びの説明】

札幌市立円山小学校

〒064-0821

中央区北1条西25丁目1-8

中央区

【幼稚園との連携】

近隣幼稚園とは数年来、園児の「学校施設見学」という形で交流を行ってきています。一昨年度からは児童・園児がより密接に関わる機会を設け、幼小の接続を一層意識した取組を実施してきました。

今年度は、12月8日に円山幼稚園、同月15日にさゆり幼稚園の子どもたちと1年生が交流しました。

まずは学校見学。兄弟の参観日等で校舎に入ったことのある子どももいますが、家庭科室の大きな鏡、音楽室にある楽器、図書室にある少し難しそうな本を見たり触ったりして、「うわあ、すごい」「これなんだろう」と興味津々の様子でした。

次は1年生との交流。生活科「たのしいあき いっぱい ～あきのおもちゃであそぼう～」の学習として行いました。「幼稚園の友達を招待して、一緒に遊ぶ」という目的意識のもと、「幼稚園の子どもが楽しめるようにするには」と相手意識をもたせながら準備を進めてきました。

園児の来校に気付いた1年生は、待ちきれないというように教室から出てきて、手を振ったり手招きしたりしていました。交流では、お兄さんお姉さんらしく、そばに寄り添い、丁寧な口調で話す姿が見られました。



【こうやって遊んでね！】



【どれにしようかな？】

【成果】

今年度は、事前に円山幼稚園にお願いをして幼稚園での生活の様子を録画させていただき、1年生に見せるという試みをしました。つい1年前の自分たちの姿ではありますが、「誰と遊ぶのか」「どのような子どもたちなのか」と、相手の姿がよりはっきりとすることで、期待感が高まるとともに、「どのような準備をしたらよいか」という見通しや「これで大丈夫か」と活動を見直すことにつながりました。

その他にも、ビデオレターを送ったことやお礼のお手紙をいただいたことなどで、相手がさらに近い存在となったようです。



【お兄さんお姉さんありがとう！】

【考察】

交流を単発で行うのではなく、手紙のやり取り等も含め一往復以上の機会をもつことで、つながりを強められることを感じることができました。今年度は円山幼稚園のみ、ビデオレターや手紙での交流をしましたが、次年度は他の幼稚園にも広げられればと思います。

例年12月に行っている交流ですが、インフルエンザの流行等で実施が危ぶまれる状況もあったので、予備日を設定するなど、確実に実施できるような日程調整をしていきたいと思っています。

札幌市立緑丘小学校

〒064-0810

中央区南10条西22丁目 3-1

【つぼみ幼稚園・ルーテル幼稚園との交流】

- ・本校の校区にあり卒園児が本校に入学している。毎年、1年生が生活科で、5年生が総合的な学習の時間で、交流を継続してきた。

◇1年生との交流

9月、10月の2回にわたり、小学校で交流を行った。広い体育館で、1年生と年長児の合同チームを作ったのりレーゲームなどで遊んだ。また学級ごとに教室の中で、小集団に分かれての活動（絵本を読む、折り紙を一緒にするなど）をしたり、全員でクイズ大会やゲームをしたりして楽しんだ。



【1年生が教えながら楽しんだ折り紙】

◇5年生との交流

11月には、つぼみ幼稚園を訪問し、グループごとに年長児となわとびや積み木などで遊んだ。多目的ホールでだるまさんがころんだなどをして遊んだ。2月には、両幼稚園を本校に招いて、体育館で遊んだり学校探検をしたりした。5年生は積極的に園児に声かけをして、楽しんでもらおうとしていた。前回と同じ組み合わせの園児と小集団で活動することで、より仲良くなり、つながりも強くなった。



【多目的ホールでのグループ遊び】

◇札幌市教育委員会のなかよしキャンプ事業による交流

平成26年度から5年間予定の事業で、本校5年生と本校に就学予定の年長児の参加希望者が一緒に自然体験活動を行っている。年間5回の実施で、今年度は、学校探検や円山動物園、北方自然教育園での体験活動を行った。

【成果】

- ・1年生は、校内では6年生などにお世話をしてもらいかわいがってもらえることが多かった。そんな自分たちが、年下の友達を楽しませてあげたい、関わってあげたいと思い、それが成功することで自分たちの成長につながり、自信をもつようになった。
- ・5年生は、来年春から自分たちが関わることになる幼稚園児との交流により、6年生への期待感や自信をもつことにつながった。

【考察】

- ・毎年、交流を継続していることで、学校と幼稚園とのつながりが強くなり、年度が替わってもスムーズに連携しやすくなっている。教師間でも、子どもについての情報共有がしやすくなり、小1プロブレムへの対策への一助となっている。今後もこの取組を継続していき、スタートカリキュラムの作成に生かしていきたい。

札幌市立盤溪小学校

〒064-0945

中央区盤溪226番地

【ばんけい幼稚園との交流】

本校では、ばんけい幼稚園との交流が1年生の生活科の成長単元の中に位置付いています。

もうすぐ2年生のみんな。今までのお世話される側から、ここからはちょっぴりお姉ちゃん・お兄ちゃんの意識が芽生え、2年生へとステップを踏んでいきます。

また、年長さんは、ピッカピカの1年生へ！とお互いに成長が見られます。**本物のふれあい**が子どもたちの成長を後押しするのです。



中央区



今までの経験を生かし、新1年生という相手意識をしっかりとって、計画準備と進めていく1年生。「こんなじゃダメ、もっと2年生に向けて頑張らないと・・・」という声も出てきて、お手本になろうと1年生一人一人が奮闘します。

お礼にもう恒例の手作りカレンダー

ばんけい幼稚園の年長さん。運動会などでお世話になった盤溪小にカレンダーをプレゼントしてくれます。わくわくドキドキの期待を胸に秘め、一番素敵な姿を1年生の前で披露します。澄んだキラキラした目の輝き、この取組を通して、また一歩成長し4月小学校に入学してきます。



カレンダーは1年生の教室に
1年間飾られています。

カレンダーのお礼に、『1年生待ってるよカード』を渡します。一言コメントも付けて渡す素敵な姿が1年間の成長の証です。

本校は、縦割り活動を重視しているため、2年生になるとよりお手本としての役割が増えます。そのため、新1年生の1日入学やこの幼稚園との交流が、子どもたちの意識をより成長させる良い機会となっています。

【今後にむけて…】

☆幼稚園側との連携を密にして、お互いに無理なく、進めていく。

☆「子どもたちの笑顔」が見られようバージョンアップしていく。

札幌市立宮の森小学校

〒064-0954

中央区宮の森4条6丁目

～「宮の森保育園」との連携～

姉妹校交流「オープニングセレモニー」への ……………ご招待・参観

本校では毎年4日間、アメリカ合衆国のリッチモンド小からの訪問団をお迎えしている。その間、訪問団の皆さんは本校保護者の自宅にホームステイしており、初日には「オープニングセレモニー」を行い、各学年がおもてなしの発表を行う。

このセレモニーは、異文化を肌で感じ、外国語に触れることができる貴重な機会であるため、保護者を始め、地域の方や保育園へのご案内を行っている。参加された方にとっても、地域の中の小学校で、どのような姉妹校交流の活動を行っているのかを体験できる場となる。



＜リッチモンド小訪問団の前で楽しい発表
をする本校児童＞



＜セレモニーをフロアーで観覧する保育園の皆さん＞

学習発表会「1～3年生演目」への ……………ご招待・参観

来年度1年生として入学する年長さんを主に、1～3年生の演目を最前列で観覧いただいている。宮の森小へ入学する園児ばかりではないが、小学校の取組、発表を肌で感じ、全校児童に拍手で迎えらるる温かさを感じ、入学することを心待ちにしてくれること願っている。



＜入場時に全校に紹介される保育園の
皆さん＞

来年度へ向けて……………

- 上記の「取組」を継続する。
- 「総合的な学習の時間」を活用し、本校児童との「遊び交流」などを計画している。保育園にも検討していただいているので、連絡を取り合い、実施を目指す。地域内の結び付きを深め、人を通して学び合える環境、地域に根差した教育に結び付くと考える。

札幌市立山鼻南小学校

〒064-0929

中央区南29条西12丁目1-1

中央区

【複数の近隣幼稚園保育園との連携】

- ・これまで本校では、1年生生活科の学習で札幌わかさ幼稚園との交流を行ってきた。今年度からは、新たに5年生の総合的な学習の時間で「チャレンジ、なかよしプロジェクト」を設定し、活動に取り組んだ。これは、新年度から1年生のお世話をする立場になる5年生に、幼児のことをもっと知りたい、関わりたいという必然性を感じさせながら、相手を楽しませるための問題解決を図る学習構成としている。これまで交流していた札幌わかさ幼稚園の他に、幌南華園保育園、もいわ光華保育園も加えた3園との交流を進めた。

【成果】

- ・少子化の時代ということもあり、自分よりも小さい子と関わった経験のない児童が多い。5年生の学びでは、訪問して、イメージ通りにできなかった原因や次回に向けての改善点を、問題解決的な学習として試行錯誤しながら解決につなげていくことができた。最後となる3回目の交流では、幼児の目線で考えて主体的に行動し、関わる姿が見られた。この学びを通して、自分が積極的に考え行動しなくては、交流がうまくいかないことに気づき、校内での他の活動においても積極的に取り組もうとする子どもたちの育ちが見られた。

【考察】

- ・小学校入学に向けての不安軽減や、新6年生として低学年をお世話する心や活動の準備など、お互いに必要感のある活動になった。今後とも、スムーズな幼保小のつながりを、最高学年としての資質・能力を育てる活動にしていきたい。



【戸惑いながらも目線を下げて】



【反省から協働的に学ぶ】



【来校した園児を案内】

札幌市立資生館小学校

〒060-0063

中央区南3条西7丁目

【保育園・幼稚園との連携】

1) しせいかん保育園との交流

資生館小学校は、子育て支援センター、ミニ児童会館、しせいかん保育園の複合施設であり、同じ建物内にある利点を生かして、例年様々な交流を行っている。

チャレンジランキングへの参加

本校で行われる児童集会「チャレンジランキング」に、保育園児がお客さんとして参加している。園児がゲームに参加して楽しむことはもちろん、小学校の雰囲気を感じたり憧れをもったりする機会となっている。

しせいかんっ子広場

4 施設の交流の場として「しせいかんっ子広場」という行事を毎年開催している。その中で1年生と保育園児、子育て支援センターに来ている赤ちゃんも一緒になってゲームや体操を楽しんだり、歌や器楽演奏を発表し合ったりしている。

学芸発表会

本校の学芸発表会の際、1・2年生の発表時に保育園児と一緒に観覧している。体育館の一番前の席で迫力のある演技や音楽を観覧したり、入退場の様子を見たりすることで、小学生の学びの一端を感じる機会となっている。

2) 中央幼稚園との連携

学校見学

小学校入学を控えた年長児が来校し、1年生の学習の様子を見学している。教室で座って国語や算数の学習に取り組む様子を実際に見ることで、「勉強って楽しそう。」「早く学校に行きたい。」という思いを強くもってもらいよい機会となった。

就学相談

小学校入学に向けて、就学に不安を抱える保護者・園児を対象に、中央幼稚園学びのコーディネーターを介して学校見学や就学相談を受け入れている。通常学級だけでなく特別支援学級の学習の様子を見学していただいたり、現在抱えている保護者の心配を一緒に聞いたりすることで、就学に向けての不安を少しでも解消できるようになった。

【成果】

- ・小学生にとっては幼稚園児や保育園児と接する機会があることで、小さい子に優しく接しなくては、と思う気持ちや態度が生まれるよさがある。特に1年生にとってはお兄さんお姉さんになるという自覚が生まれ、大きく成長するきっかけとなった。
- ・学校としても保育園・幼稚園と連携することで互いの情報を共有し、協力して子どもの成長を見守っていくという意識が高まった。

【考察】

- ・今後も連携を続け、職員間の交流も深まるように工夫していきたい。



【しせいかんっ子広場でゲームを楽しむ子どもたち】



【真剣に学習の様子を見る中央幼稚園の子どもたち】